

熊本日日新聞

発行所
熊本日日新聞社
 〒860-8506
 熊本市中央区世安町172
 代表(096)361-3111
 © 熊本日日新聞社 2013年

2013年(平成25年)

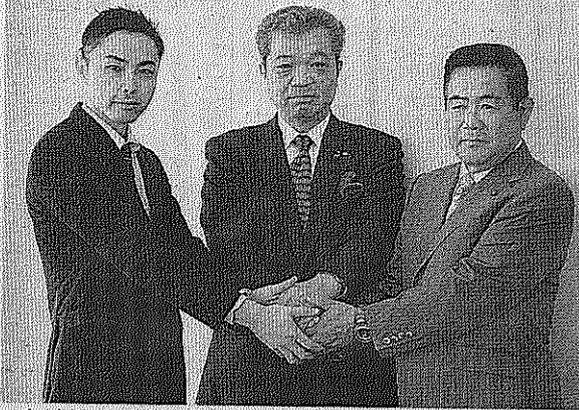
4月16日

火曜日

加工食品生産能力 五葉フーズ増強へ

玉名市と
立地協定

冷凍食品製造・販売
 の五葉フーズ(玉名市、
 金子宜弘社長)は15日、
 製造ラインの増強に伴
 う立地協定を、玉名市
 と締結した。投資額は
 1億7千万円で、12人



立地協定を結び、握手する五葉フーズの金子宜弘社長(左)と高崎哲哉玉名市長(右)。中央は立会人の真崎伸一県商工観光労働部長＝県庁

の新規雇用を予定して
 いる。
 計画では、関東やア
 ジアなど国内外への販
 路拡大を見据え、ミ

トホールやハンバーグ
 などの冷凍食品や、高
 齢者向け加工食品など
 を製造している既存4
 ラインを増強。生産能

力を現在の年間120
 0トから倍増させるほ
 か、農産物の加工設備
 も導入する。5月着工、
 10月稼働の予定。
 同社はことし1月、
 6次産業化に取り組む
 五葉(福岡県筑後市)
 の100%出資で設
 立。みそ・しょうゆ製
 造のフンドーダイ(熊
 本市)の子会社だった
 マルゼンフーズとデリ
 テックから雇用を含め
 て事業譲渡を受けた。
 従業員63人。2014
 年1月期は、7億円の
 売上高を見込む。
 (田川里美)

2013年 (平成25年)

4月17日

水曜日

熊本日新聞

発行所
熊本日新聞社

〒860-8506
熊本県中央区世安町172
西代表(096)361-3111
© 熊本日新聞社 2013年

「イチゴやトマトなど地元の豊富な農産物を使った加工食品を強化したい」と冷凍食品製造

・販売の五葉アース(玉名市)の金子宜弘社長(31)。製造ラインの増設で、玉名市と立地協定を結んだ。

1月に設立し、地元の商品製造会社から全事業を引き継いだ。ミートボールやハンバーグなど国産畜肉を原料にした冷凍食品は30年以上、飲み込みやすさや栄養面を考慮した



金子 宜弘

高齢者向け食品は約7年の実績があり、さらに事業拡大を目指す。

手始めに、東京営業所を近く稼働。6次産業化に向け、農産生産法人の設立準備を進める。「地域との連携、阿蘇や九州など広域連携による全国展開、アジアを中心とした海外展開」の三つの戦略で、九州の農産加工品を売り込む

(田川里美)

日本経済新聞

4月18日

木曜日

発行所 日本経済新聞社
 東京本社 ①(03)3270-0251
 〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7
 大阪本社 ②(06)6943-7111
 名古屋支社 ③(052)243-3311
 西支社 ④(092)473-3300
 札幌支社 ⑤(011)281-3211

冷食生産能力を倍増

五葉アース 高齢者向け市場狙う

冷凍食品製造の五葉アース（熊本県玉名市、金子真弘社長）は生産能力を倍増する。高齢者向け食品などの市場が今後拡大すると判断、供給能力を向上するとともに東京

に営業拠点を開設して事業拡大を図る。本社工場（同）に1億7千万円かけて生産ラインを増強。年間1200トンの生産能力を倍に引き上げる。新ラインは5

月に着工し10月に稼働予定で、新たに12人を雇用する。増産にあわせて東京営業所を開設、首都圏市場開拓も本格化する。五葉アースは、フンドイタイ（熊本市、大久保

太郎社長）、子会社のマルセンアース（玉名市）などから事業譲渡を受け、2014年1月に設立。2014年1月期売上高は7億円を見込む。ミートボールやハンバーグなど冷凍食品や高齢者向け食品を生産。3月には地元JAと連携協定を結び、地元農産品を使った商品開発にも取り組んでいる。

「9.11」

の日本人選手を招いて2008年から毎年開催。11年以上は震災犠牲者への追悼の思いも込めてきた。

米国人オケストラの演奏に合わせ、仙台市出身の白田さんが作詞した鎮魂歌などを合唱。歌詞では白田さんが今



定。11月に着工、来年品製造を手掛ける予定。11月に着工、来年

やペース化、冷凍食品製造を手掛ける予定。11月に着工、来年

ツコリなどのカットやペース化、冷凍食品製造を手掛ける予定。11月に着工、来年

培えるカボチャやプロツコリなどのカットやペース化、冷凍食品製造を手掛ける予定。11月に着工、来年

アの農業生産法人が栽培するカボチャやプロツコリなどのカットやペース化、冷凍食品製造を手掛ける予定。11月に着工、来年

方などを整備。グループの農業生産法人が栽培するカボチャやプロツコリなどのカットやペース化、冷凍食品製造を手掛ける予定。11月に着工、来年

し、工場（1500平方メートル）を整備。グループの農業生産法人が栽培するカボチャやプロツコリなどのカットやペース化、冷凍食品製造を手掛ける予定。11月に着工、来年

5万8千平方メートル取得し、工場（1500平方メートル）を整備。グループの農業生産法人が栽培するカボチャやプロツコリなどのカットやペース化、冷凍食品製造を手掛ける予定。11月に着工、来年

画では、同市上小田の5万8千平方メートル取得し、工場（1500平方メートル）を整備。グループの農業生産法人が栽培するカボチャやプロツコリなどのカットやペース化、冷凍食品製造を手掛ける予定。11月に着工、来年

グルーナ2カ所目。計画では、同市上小田の5万8千平方メートル取得し、工場（1500平方メートル）を整備。グループの農業生産法人が栽培するカボチャやプロツコリなどのカットやペース化、冷凍食品製造を手掛ける予定。11月に着工、来年

玉名市での加工場は4月の稼働を目指す。投資額は約6億円。本社は新工場の隣に置く。

五葉県内に食品工場

玉名市に農産物を「6次産業化」 本社移転へ

農業・食品加工の五葉（福岡県筑後市）は12日、本社を10月にも玉名市に移し、同市と熊本市に加工場を整備するなど、県内で農産物の生産から加工、販売までを手掛ける「6次産業化」を推進する計画を明らかにした。

4月の稼働を目指す。投資額は約6億円。本社は新工場の隣に置く。

今月2日には、熊本市北区のフードパル熊本にある食品加工工場（用地面積約3千平方メートル）を量光産業（同市）から取得。加工設備を導入し、12月から入院食や介護食用の食品を

製造する。投資額は約4億円。同市の新工場では計35人を雇用する予定。

子会社の五葉フーズ（玉名市）が同市山部田で操業する加工場を含む計3工場、野菜の加工量を現在の年間1200トンから倍増させる。五葉は現在、玉名市に1・5分の農地を確

保。同社は「100秒まで増やしたい」としている。

五葉は2012年11月の設立。連結企業の従業員は約70人。14年2月期の連結売上高は7億円の見通し。国内外に販路を広げて5年後には50億円まで伸ばす計画。

12日、県庁で玉名市の工場整備に関する立地協定の調印式があり、五葉の水谷彰孝社長は「熊本は農産物が豊かで、需要が見込め

るアジアへのアクセスもいい。JAと連携し、地元の野菜の消費拡大にも貢献したい」と話した。（原大祐）

熊本日日新聞

発行所
熊本日日新聞社
〒860-8506
熊本市中央区世安町172
訂代 表 (096) 361-3111
© 熊本日日新聞社 2013 年

2013 年 (平成25 年)
9 月 13 日

金曜日



県北 19

風雨に耐えた生命力を実感
菊池市に点在する古木を紹介した写真展が同市で開かれていた。数百年の風雨に耐えてきた生命力を肌で感じようと、いくつかを訪ねた。

ライブビューイング人気

コンサート、演劇、スポーツの試合を映画館などで生中継する「ライブビューイング」が人気だ。遠くの会場へ足を運びにくい熊本などの地方都市でもライブアメンタを味わえる新たなエンターテインメントとして注目されている。

社会 31

五葉が県内に食品2工場

農業・食品加工の五葉（筑後市）は本社を玉名市に移し、県内で農産物の生産から加工、販売を手掛ける「6次産業化」の推進計画を明らかにした。

経済 8

日本経済新聞

9月13日

金曜日

発行所 日本経済新聞社
 東京本社 東京都千代田区大手町1-3-7
 〒100-8066
 大阪支社 大阪府支社
 名古屋支社 名古屋支社
 西支社 西支社
 札幌支社 札幌支社

高齢者向け食品増産

五葉、熊本に新工場

農業や食品加工を手掛ける五葉(福岡県筑後市、水谷彰孝社長)は12日、ペースト状にした料理など介護を必要とする高齢者向けの食品などを増産すると発表した。熊本市内の工場を買収し、熊本県玉名市にも新工場を建設。来年度は、高齢者向

けの食品などを現在より7割多い2千ト生産する計画だ。子会社の五葉フーズ(玉名市)が重光産業(熊本市)から熊本市内の旧「桂花」ラーメン工場を買収、12月に高齢者向け食品の生産を始める。系列の農業生産法人、たま

な五葉倶楽部(玉名市)は農産物を洗浄・加工する新工場を玉名市内に建設、来年4月に稼働させる。投資額はそれぞれ約4億円、約6億円。五葉フーズは既存工場の増強も進めており、3工場合わせたグループ全体の生産量は現在の年1200トから来年度は2千トに拡大。3年後には年4千トを見込んでい

「9.11」

の日本人遺族を招いて2008年から毎年、開催。11年以降は震災犠牲者への追悼の思いも込めてきた。

米国人オケストラの演奏に合わせ、仙台市出身の白田さんが作詞した鎮魂歌などを合唱。歌詞は白田さんが今



玉名市での加工場はグループ2カ所目。計画では、同市上小田の5万8千平方メートル取得し、工場（1500平方メートル）を整備。グループの農業生産法人が栽培するカボチャやブロッコリーなどのカット野菜に加工し、冷凍食品製造を手掛ける予定。11月に着工、来年

五葉県内に食品2工場

玉名市に 農産物を「6次産業化」 本社移転へ

農業・食品加工の五葉（福岡県筑後市）は12日、本社を10月に玉名市に移し、同市と熊本市に加工場を整備するなど、県内で農産物の生産から加工、販売までを手掛ける「6次産業化」を推進する計画を明らかにした。

4月の稼働を目指す。投資額は約6億円。本社は新工場の隣に置く。

今月2日には、熊本市北区のフードパル熊本にある食品加工工場（用地面積約3千平方メートル）を量産産業（同市）から取得。加工設備を導入し、12月から院食や介護食用の食品を

製造する。投資額は約4億円。熊本市の新工場では計35人を雇用する予定。

子会社の五葉フーズ（玉名市）が同市山部田で操業する加工場を含む計3工場、野菜の加工量を現在の年間1200トンから倍増させる。五葉は現在、玉名市に1・5haの農地を確

保。同社は「100トンまで増やしたい」ともしている。

五葉は2012年11月の設立。連結企業の従業員は約70人。14年2月期の連結売上高は7億円の見通し。国内外に販路を広げ、5年後には50億円まで伸ばす計画。

12日、県庁で玉名市の工場整備に関する立地協定の調印式があり、五葉の水谷彰孝社長は「熊本は農産物が豊かで、需要が見込め

る。シェアへのアクセスマい。JAと連携し、地元野菜の消費拡大にも貢献したい」と話した。（原大祐）

熊本日新聞

発行所
熊本日日新聞社
〒860-8506
熊本市中央区世安町172
各代表(096)361-3111
© 熊本日日新聞社 2013年

2013年（平成25年）
9月13日

金曜日



県北 19

菊池市に点在する古木を紹介した写真展が同市で開かれていた。数百年の風雨に耐えてきた生命力を肌で感じようとして、いくつかを訪ねた。

ライブビューイング人気

コンサート、演劇、スポーツの試合を映画館などで生中継する「ライブビューイング」が人気だ。遠くの会場へ足を運びにくい熊本などの地方都市でもライブメントを味わえる新たなエンターテインメントとして注目されている。

社会 31

五葉が県内に食品2工場

農業・食品加工の五葉（筑後市）は本社を玉名市に移し、県内で農産物の生産から加工、販売を手掛ける「6次産業化」の推進計画を明らかにした。

経済 8

日本経済新聞

9月13日

金曜日

発行所 日本経済新聞社
 東京本社 電話(03)3270-0251
 〒100-0006 東京都千代田区大手町1-3-7
 大阪本社 電話(06)6943-7111
 〒550-0001 大阪府大阪市東淀川区
 名古屋支社 電話(052)243-3311
 〒460-0001 名古屋市中区
 西尾支社 電話(092)473-3300
 〒890-0001 鹿児島県西尾市
 札幌支社 電話(011)281-3211

高齢者向け食品増産

五葉、熊本に新工場

農業や食品加工を手掛ける五葉(福岡県筑後市、水谷彰孝社長)は12日、ベースト状にした料理など介護を必要とする高齢者向けの食品などを増産すると発表した。熊本市内の工場を買収し、熊本県玉名市にも新工場を建設。来年度は、高齢者向

けの食品などを現在より7割多い2千トン生産する計画だ。子会社の五葉フーズ(玉名市)が重光産業(熊本)から熊本市内の旧「桂花ラーメン」工場を買収、12月に高齢者向け食品の生産を始める。系列の農業生産法人、たま

な五葉倶楽部(玉名市)は農産物を洗浄・加工する新工場を玉名市内に建設。来年4月に稼働させる。投資額はそれぞれ約4億円、約6億円。五葉フーズは既存工場の増強も進めており、3工場合わせたグループ全体の生産量は現在の年1200トンから来年度は2千トンに拡大。3年後には年4千トンを見込んでい

熊本・九州

けいざい

2013年 (平成25年)

12月4日

水曜日

熊本日日新聞

発行所

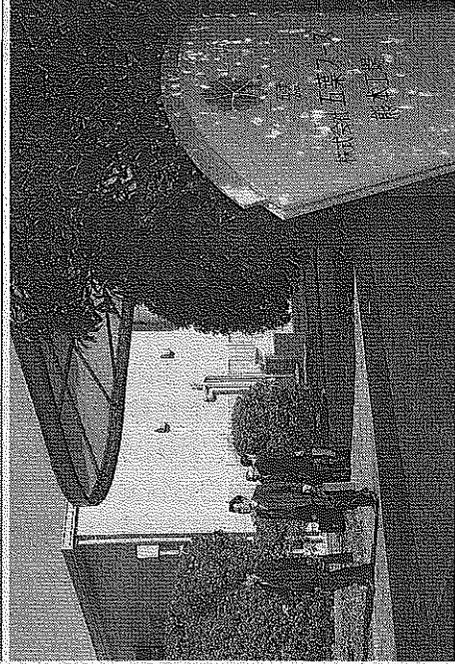
熊本日日新聞社

〒860-8506

熊本市中央区世安町172

〒代表 (096) 361-3111

© 熊本日日新聞社 2013年



操業を開始した五葉フーズの熊本工場。3日は事務所内でしゅん工式もあった＝熊本市のフードハル熊本

五葉フーズ工場操業

フードハル熊本 病院食など製造

食品加工の五葉フーズ(玉名市、金子直弘社長)が熊本市北区のフードハル熊本に整備していた熊本工場が完成し、3日、操業を始めた。野菜などを調理し、病院食や介護食向けの食品を製造する。玉名市に拠る同社の2カ所目の工場。敷地面積は約4千平方メートル、工場の延べ床面積は約

千平方メートル。食品加工工場だった施設を購入し、冷凍食品の調理用に改装、機器類を新設した。年間500万の食品製造を計画する。投資額は約5億円。ひじきの煮物やまんじゅうなどを調理し、独自の技術ですりつぶして冷凍食品にする。商品は20種類。同社は「病院食だけにな

く、今後は30代向け朝食など「柔らかな食品」の新たな市場も狙っていく」としている。同社は、農産物の生産から加工、販売までの6次産業を手がける五葉(玉名市)の100%子会社。

(大踏秀紀)

北海道

セロニク電子、無機ELの寿命延長
水産特区3ヶ月、新手法で競争に勝つ
鎌倉市長、車両流入規制「任期中にも」

東北

師走の富士山麓、新そばに舌つみ
フロッパー、車の技術で農業ハウス管理
自転車シエフ、近畿でも広がる

静岡

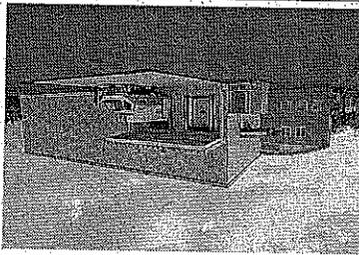
近畿

中部

朝刊・夕刊→地域版(有料分冊付)

地域情報へつらい

日経電子版紙面E1-E7から



このように、この建物の設計は、環境に優しい材料を使用し、エネルギー効率を高めるように設計されています。また、建物の外観は、地域の伝統的な建築スタイルを模倣し、周囲の環境と調和しています。

新の本流

新田の冷谷 マーケット

この市場は、新鮮な野菜や果物を提供し、地域の農業を支援しています。また、市場には、伝統的な工芸品や食品も販売されており、観光客にも人気です。

この市場は、新鮮な野菜や果物を提供し、地域の農業を支援しています。また、市場には、伝統的な工芸品や食品も販売されており、観光客にも人気です。

大分県が

大分県が、この市場を支援し、地域の発展を促進しています。

この市場は、新鮮な野菜や果物を提供し、地域の農業を支援しています。また、市場には、伝統的な工芸品や食品も販売されており、観光客にも人気です。

オレイン製

オレイン製の野菜は、新鮮で栄養豊富です。

午後5時

午後5時の市場は、多くの人が訪れます。

大分県が

大分県が、この市場を支援し、地域の発展を促進しています。

大分県が、この市場を支援し、地域の発展を促進しています。

大分県が、この市場を支援し、地域の発展を促進しています。

大分県が、この市場を支援し、地域の発展を促進しています。

大分県が、この市場を支援し、地域の発展を促進しています。

大分県が、この市場を支援し、地域の発展を促進しています。

大分県が、この市場を支援し、地域の発展を促進しています。

大分県が、この市場を支援し、地域の発展を促進しています。

2013年(平成25年)12月11日(水曜日)

産

産

産

産

五葉フーズ 新工場完成

フードバル熊本に

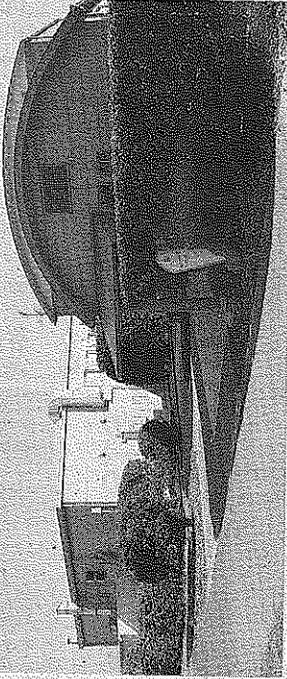
農産物の食品加工会社「五葉」(玉名市)の子会社で介護食製造の「五葉フーズ」(同)が熊本市北区和泉町に新工場を建設し、3日、現地で落成式が開かれた。

同社の工場は、本社に続いて2か所目で、食品工業団地「フードバル熊本」内に約5億円をかけて建設した。建物面積は、970平方メートル。調理室、製品の急速

冷凍装置を設けた。トシキの煮物、きんぴら、ボロをすりつぶしたフーズなど約20商品を、年間500ト生産するという。

落成式には、工事関係者や県、熊本市などから約40人が出席。金子直弘社長は「これまでは主に病院向けに作っていた。生産量を増やし一般家庭向けとしても売っていきたい」と語った。

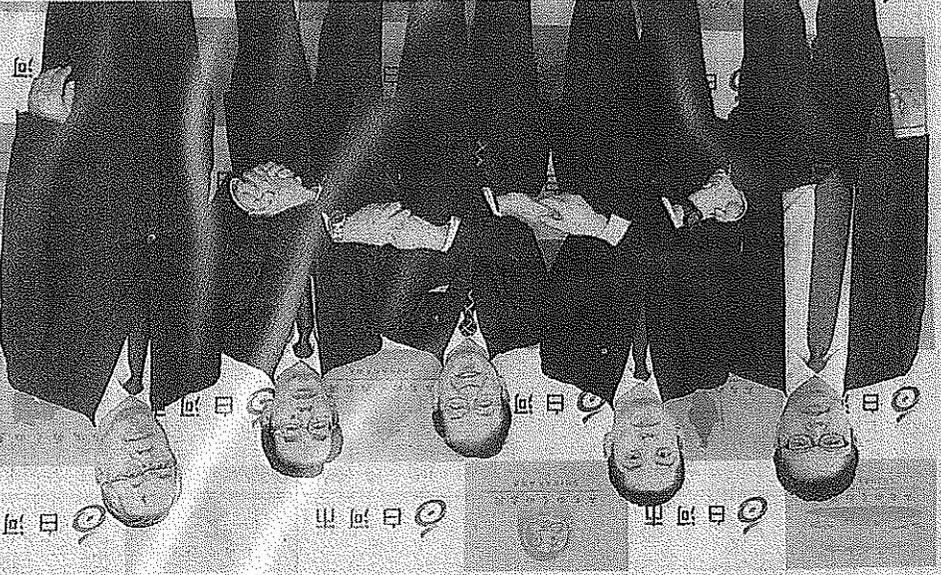
完成した五葉フーズの新工場



フードバル熊本は同市などで設けた工業団地で、これまで15の企業が進出したことになるといふ。

けな い 明日

農商工と医療・福祉連携へ



田河井 隆 (左) 田河井 隆 (右) 田河井 隆 (右)

田河井 隆 (左) 田河井 隆 (右) 田河井 隆 (右)

田河井 隆 (左) 田河井 隆 (右) 田河井 隆 (右)

田河井 隆 (左) 田河井 隆 (右) 田河井 隆 (右)

「新種のおひな」

咲染直葉とおひな